

平成12年度一般会計予算 52億 4,800万円スタート

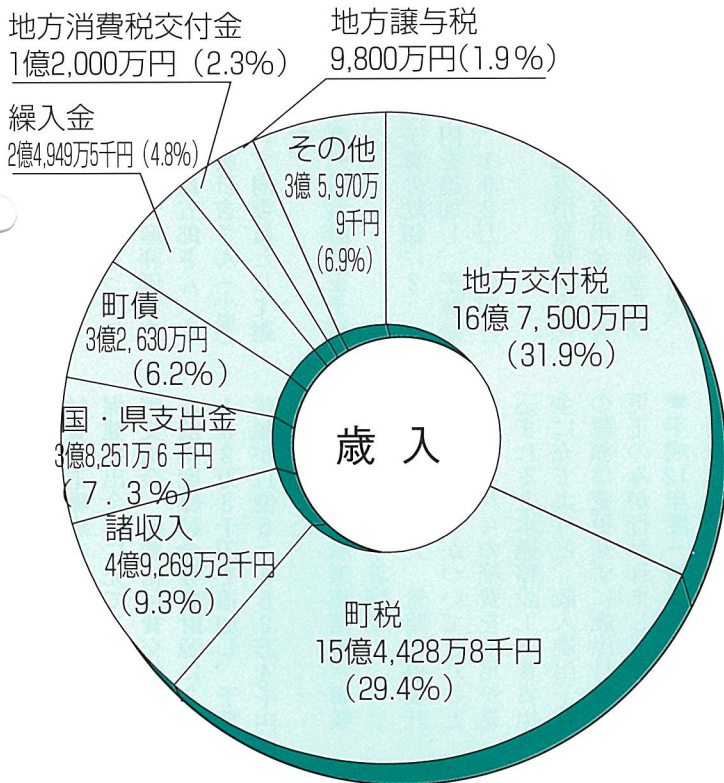
3月定例町議会で平成12年度の予算審議が行われ、特別会計を含めた予算総額81億 803万2千円が可決されました。このうち一般会計予算は、前年度において実施した第二保育所及び文化会館の空調設備機能回復事業の完了、また、介護保険事業実施による特別会計の創設（老人保護措置費等の介護保険特別会計への移行）等により前年度当初予算に比べ1.9%減の52億 4,800万円となりました。

今月号では、今年度を実施される主な事業と予算の概要についてお知らせいたします。

歳入

町税については、個人町民税が景気の低迷による所得の伸び悩みや恒久減税の影響により、前年度予算に比べ減となっております。また、法人町民税についても、景気の低迷状態が続いていることから法人所得が減少傾向にあり、前年度予算に比べ減となっております。固定資産税については、評価替えに伴う負担調整による増や新築家屋が増えたこと等により若干の増額を見込んでおり、たばこ税についても若干の増収が見込まれています。町税全体では、景気の低迷の影響を受け前年度に比べ1.5パーセント減の15億4,428万8千円が計上されました。

また、町税とともに歳入の大きな柱となる地方交付税は、し尿・ゴミ処理場の建設に係る起債償還費の算入や、個人町民税、法人町民税等の減収によって、前年度に比べ5.0パーセント増の16億7,500万円が計上されました。このほか、国・県支出金、財政調整基金繰入金、空港周辺対策交付金、町債（借入金）、前年度繰越金などが各事業を推進するための貴重な財源として活用されることとなります。



歳出

将来に向けてのまちづくりの指針となる新総合計画の策定や都市計画事業の推進、周辺住民の利便性の向上と地域活性化を図るための栗山川橋梁架設事業、新たな航空機騒音障害防止対策事業、上堺会館の空調機器機能回復事業、防災行政無線親局の更新整備事業が実施されるほか、町の基幹産業である農業振興策としての広域営農団地農道整備事業及び北清水地区の土地改良事業への助成、さらには横芝中学校の建設財源確保のための基金への積立てなど、基本構想の第三次基本計画の各分野における諸施策の推進を図るべく予算編成がなされました。

歳出予算の内訳は次項のとおりです。

